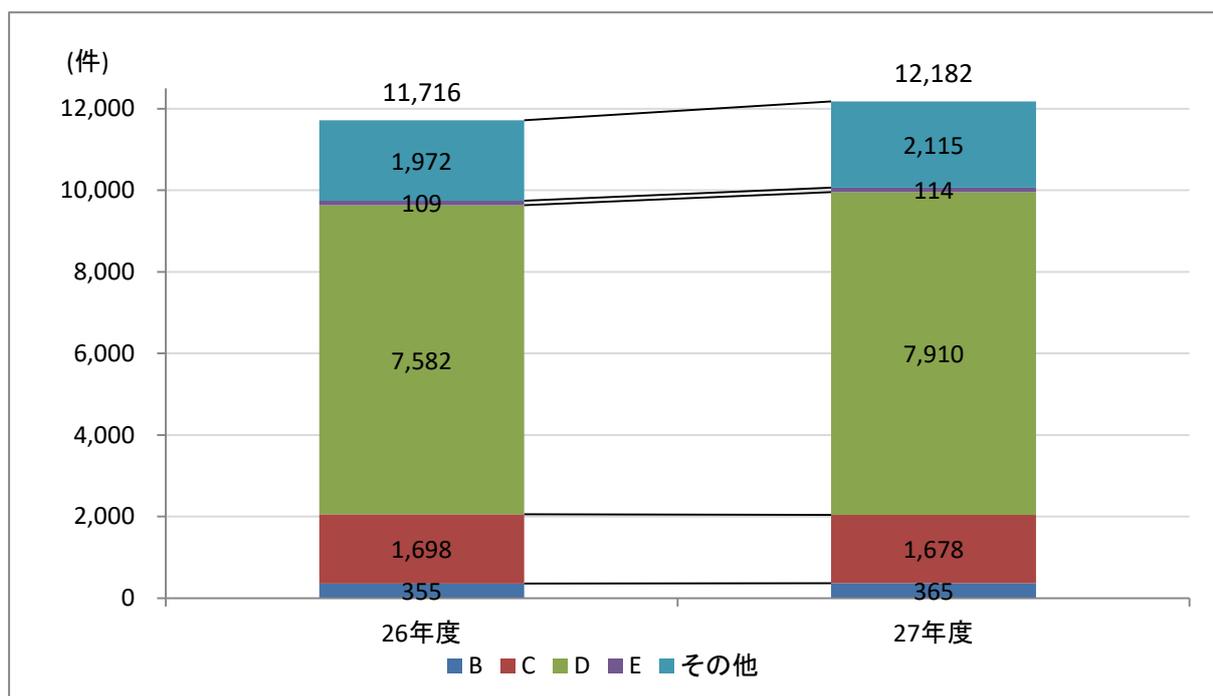


## 4 8. 手術室で実施された手術の技術度別件数



特定機能病院である当院は、手術の件数だけでなくどの程度難易度の高い手術に対応しているか評価を行うことも重要な指標である。手術の難しさと必要な医師数を勘案した総合的な手術難度を技術度といい、外科系学会社会保険委員会連合(外保連)が試案として5段階で発表している。その中でも特に技術度DとEに関しては、熟練した外科経験を持つ医師・看護師及び器具が必要である為、難易度の高い手術といえる。

平成27年度はA棟開棟に伴う手術室増室により、年間手術室利用件数12,000件を超える実績で、特にD難度手術は大幅に増加した(前年比+328件)が、全体件数に占める技術度割合は、前年度をほぼ同等で大きな変化はない。手術室を有効に活用し、手術室利用件数の増加を図ると同時に技術度の高い手術件数も増やすことが今後の課題である。

※その他(技術度なし)

単位: 件

	口腔外科	先進医療・ダヴィンチ	検査等
26年度	224	129	1,619
27年度	236	146	1,733

データ提供: 戦略企画部